

最新インターナショナル・コンチネンタル・スタディ

ハイブリッド・カーと電気自動車の人気上昇中

- オートモーティブ・サプライヤーであるコンチネンタルが、これまで例のない調査の結果を公表
- 燃料価格の高騰が、考えを改めるプロセスを加速
- ドライバーの約半数が、市内交通用に排気ガスの出ない電池駆動の車両を望んでいる
- ハイブリッド・カーの購入意思を持つドライバーが国際的に増えている、特に助成金が出る場合にはより顕著
- 全ドライバーの三分の二弱は、短距離あるいは市内のみを走行、よって、ハイブリッド・カーにポテンシャル有り

ハノーファー/ウィーン、2008年6月27日：世界中のドライバーが、電動自動車やハイブリッド・カーに想像以上に興味を持っている。アンケート参加者の36.0%が、ハイブリッド・カーを、そしてなんと45.8%もが電動自動車を購入してもよいと答えた。その理由としては、燃料価格の上昇と環境への配慮が同様に重視されている。これは、オートモーティブ・サプライヤーであるコンチネンタルが、世界で重要な8つの市場で無作為に選んだ8000人以上ものドライバーに対して行った国際的アンケート調査の結果である。「このトレンドは、オートモーティブ・サプライヤーであり環境に優しい駆動技術の提供者である我々にとって、大きなポテンシャルです。」と、コンチネンタル AG の技術系役員である Dr. Karl-Thomas Neumann (カール=トーマス・ノイマン博士) が、オーストリア/ウィーンで行われた記者会見で述べた。

今年のはじめ、コンチネンタル社の依頼を受け TNS/Infratest 社が、8つの国際的市場(中国、ドイツ、フランス、英国、日本、オーストリア、スイス、USA(国名は、ドイツ語でのアルファベット順))でそれぞれ1000人のドライバーにアンケートを行った。この調査の重点は、ドライバーのハイブリッド・システムに関する知識および見解、自分の運転習慣ならびに電気自動車に対する意見であった。

.../2

- 2 -

全ドライバーの45%は、燃料価格の高騰により、運転習慣を変えても低燃費走行を余儀なくされていると答えた。軽油とガソリン価格の上昇により運転習慣を変えたドライバーが最も多かったのは、日本人の62.6%、続いて、ドイツ人の55.2%であった。

アメリカ人では、42.8%であった。例外は：イギリス人の60%、中国人の48.9%、彼らは、燃料価格が高騰しても運転習慣は変えないと答えた。「自家用車のドライバーの大半が、国籍に関係なく、従来の軽油やガソリンと言った燃料が高価なものになると言うことに気付いていました。」と、ガソリン・スタンドでの現状を Dr. Neumann(ノイマン博士)。

燃料価格の上昇傾向は、代替駆動システムへの興味を助長してはいるが、調査の結果から、そのようなシステムの知名度は、各国で非常に異なっていることがわかった。五人に一人は、ハイブリッド駆動とは、ガソリン・エンジンとモーターの組合せであることを知っている。最も知っていたのは日本人で46.9%。後れを取っているのはイギリス人だけではないものの、3.9%と国際的に見て最も低いレベルであった。またアメリカ人ドライバーも、6.6%とハイブリッド駆動に関する知識に乏しい。

知名度からは、電気駆動が、16.8%と第二位につけている。オーストリア人は、33.3%、フランス人は、31.7%と、ハイブリッド駆動よりも頻繁にこのシステムを挙げた。更に、ディーゼル(14.1%)並びに天然ガス車(11.4%)も低燃費駆動システムとして挙げられた。目立ったのは、中国人の81.7%が、低燃費駆動システムの例を挙げるができなかったことである。ドライバーに、ハイブリッド・テクノロジーないしハイブリッド駆動と聞いたときに何を思い浮かべるか尋ねたところ、約三分の一(36.4%)が、電動モーターと内燃エンジンの組合せと答えた。なお、五人に一人は、環境・経済面の意見を述べた。

ハイブリッド駆動は、特に市内交通において有意な省エネポテンシャルを有している。そして、明らかに大多数のドライバーが毎日この範囲で運転している：アンケート参加者の85.7%の年間走行距離は、30,000km 以下であり、三分の二以上(69%)が、主に市内を走行している。特に日本では、

.../3

63.7%のドライバーの年間走行距離が、10,000km以下であり、その63.7%が、短距離あるいは市内であった。「市内と短距離しか走らないドライバーだったら、ハイブリッド駆動で、エネルギーを25%節約し、同時にCO₂-排出削減に貢献できます。」とDr. Neumannは、従来の自動車に対する長所を述べた。

「アメリカ人ドライバーにとっても大きなポテンシャルが潜んでいます:全ドライバーの三分の二弱は、短距離あるいは市内のみを走行しているからです。」

合計36%のドライバーが、ハイブリッド・カーを買う予定、或いは買う可能性が高いと答えました。中国海岸部の経済成長地域の予測は、これをも上回った:なんと半分以上(53.8%)のドライバーが - この技術の説明を受けた後の回答で - ハイブリッド・カーを将来買うかもしれないと答えた。ドイツ人は、27.4%と購入意思を示したドライバーは、三分の一を切った。しかし、国が、ハイブリッド・カーの税金を有利にするのであれば、その意見を変えることはできるようだ。なんと、アンケート参加者の半分以上(64.2%)がそのような政策があれば買うと言うのである。要するにこのような助成こそが、ドイツ人(66.6%)、オーストリア人(67.6%)並びにイギリス人(69.6%)にとっては重要な様である。

世界中のドライバーの半分以上(58.1%)は、従来の車よりも環境に優しいハイブリッド・カーが高くなると考えている。フランス人は、平均4,651ユーロ高くなると考えているが、4,411ユーロ節約できると最も高い値を回答した。アメリカ人は、2,801ユーロ高くなり、2,364ユーロ節約できると考えている。50.8%のドライバーは、ハイブリッド・カーに割増価格を払うつもりはないと答えた。他の半分は2,781ユーロまでならば、割増価格を払っても良いと答えた。

「我々の任務は、代替駆動システムの長所を明らかにし、ドライバーと環境の双方が得をすることを強調していくことです。」とDr. Neumann。調査では、ハイブリッド・カー購入の意思決定において、63.5%と最も重要な観点は、魅力的な価格であることがわかった。日本人ドライバーにとっては、十人中八人(82.6%)と、ぬきんで重要な観点であった。

ヨーロッパ人の多くが、二つ目に重要な観点として環境を挙げた。アジア人、アメリカ人とイギリス人は、少数意見を除きこのテーマを軽視している。「結果から、環境に対する思いやりはお金に左右されることが示されました。」と Dr. Neumann。「購入価格だけが、判断基準ではないはずで、長期的に見れば、ハイブリッド駆動は、特に市内しか走行しない場合、ドライバーの財布に優しいのですから。」

ハイブリッド・カーで最も魅力のある点は何かとドライバーに尋ねると、低燃費と言う答えが返ってくる。従来の車と同じ或いは早い加速性能があれば、それぞれ 37.9%のドライバーがハイブリッドを選択すると答えた。「これこそが、ハイブリッド駆動の長所なのです。」と Dr. Neumann。半分以上のドライバーは、ハイブリッド・カーの購入が、約 3 年で元が取れると考えている。「アメリカ人の答えに驚きました: 53.9%ものドライバーが、ハイブリッド・カーの購入が、約 2 年で元が取れると考えているのです。」と Dr. Neumann、そして…「フランス人の答えも面白いですね: 28.5%は、ハイブリッド・カーは、元が取れる必要は無く、環境や温暖化対策の方が大事だと言っています。」と続けた。

コンチネンタルも貢献した、リチウムイオン蓄電池の急速な発展により、電気自動車の実用化に近づいてきた。市内交通のみを対象とした、排気ガスの出ない電池駆動の自動車を、全ドライバーの約半数(45.8%)が「必ず」、「高い確率で」あるいは「たぶん」買うであろうと答えている。スイス人、オーストリア人ならびにドイツ人は、平均的であった。ここで驚くべきだったのが、中国人ドライバーの答えだ。73.4%と三分の四ものドライバーが、電気自動車に肯定的だ。都市部での大気汚染問題の解決策としても見ているからに違いない。Dr. Neumann は、コンチネンタルが、この調査の各国毎の結果を近いうちに公表し、特にコンチネンタルのカスタマーには、問い合わせがあれば、データを提供すると発表した。

コンチネンタル・コンツェルンは、年間売上 264 億ユーロ(2008 年度プロフォーマ)により、世界の五本指に数えられるオートモーティブ・サプライヤーになりました。ブレーキシステム、駆動系および走行装置に関するシステム、インフォタテインメント・ソリューション、車両エレクトロニクス、タイヤおよび工業エラストマー製品のサプライヤーとして、交通安全と環境保護に貢献しています。コンチネンタルは、ネットワークされたオートモーティ

- 5 -

ブ・コミュニケーションの信頼置けるパートナーです。コンツェルンの従業員数は、約 150000 人、36 カ国ほぼ 200 箇所もで活躍しています。

Hannes Boekhoff
Head of Media Relations
コンチネンタル AG
Vahrenwalder Straße 9
30165 Hannover
電話: 0511 938-1278
Fax: 0511 938-1055
E-Mail: prkonzern@conti.de

Antje Lewe
Spokeswoman
コンチネンタル AG
Vahrenwalder Straße 9
30165 Hannover
電話: 0511 938-1364
Fax: 0511 938-1055
E-Mail: prkonzern@conti.de

メディア・データベース: www.mediacenter.continental-corporation.com